

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 1 回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 諸事項の確認について（公開）
- (2) 会長・副会長の選任について（公開）
- (3) 地域協議会の運営等について（公開）
- (4) 地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成 28 年 5 月 24 日（水）午後 6 時 30 分から午後 9 時まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山茂、有泉圭助、浦野憲一、金井秀雄、金子八重子、佐藤順治
高橋由美子、田中正一、塚田みさ尾、船崎聡、水野恵一郎
森紀文、吉田文男、吉原ゆかり
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、野口係長、小林主事
- ・ 自治・地域振興課：佐藤課長

8 発言の内容

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【山田センター長】

- ・ 挨拶

【自治・地域振興課：佐藤課長】

・挨拶

— 自治・地域振興課 佐藤課長退席 —

【山田センター長】

議長決定まで進行役を務めさせていただく。

まず、委員の皆さんから自己紹介をお願いします。

【秋山委員】

3期目を務めさせていただく。鴨島三丁目から来た。過去6年半、協議会委員を経験させてもらった。安心・安全で活気溢れる新道区を目指して、これから皆さんと一緒に頑張っていきたい。

【有泉委員】

稲田三丁目に住んでいて、稲田に来て49年目になるが単身赴任で留守が多かった。これまで、民生委員・主任児童委員を頼まれたので引き受けていた。11月で任期が切れると思っていたら、協議会委員をやってくれということで引き受けた。就任したからには松平忠輝が整備した高田の中でも新道地区の素晴らしいところを再確認して活性化していきたい。特に子どもの教育については一生懸命やりたい。

【浦野委員】

富岡から来た。今までは協議会に地域活動支援事業の提案書を申請する立場だった。私は、町内会長、新道地区協議会会長、上越市町内会長連絡協議会会長ということで、色々なところで勉強させていただいた。この新道区に関しては22の町内会があるが、非常に多種多様で色々な問題があるだろうと思う。

今回の提案事業にも載っているが、「新道区の歩み」という歴史本を3年計画で作っていたのが、その仕上がりをどうしても見たいと思い協議会委員になった。

【金井委員】

鴨島二丁目から来て、二期目になる。新道区の防災防犯に力を入れていきたいと思う。

【金子委員】

生まれてからずっと子安に住んでいるが、子安も随分変わった。中学生ころまで田んぼの真ん中でよく遊んだものだ。今は、定年を過ぎて近所の方たちとコーラスをやったりしている。女性と協力して地域を盛り上げられたらと思う。

【佐藤委員】

稲田一丁目から来た。稲田祇園祭奉賛会で地域活動支援事業を3回申請して、補助金をいただき助かっている。皆さんが色々活動している中で、稲田一丁目からは協議会委員が誰もいないということと、今度はお返しできる立場ということで皆さんに協力できればと思っている。

【高橋委員】

下稲田に住んでいて、新道地区公民館主事をしている。仕事柄、新道地区の皆さんが毎日入れ替わりいらして、色々な考えやご意見を聞くことが多々ある。まちづくりに関しては一から勉強させていただく立場なので、皆さんとの触れ合いの中で沢山の情報を収集して頑張りたいと思う。

【田中委員】

二期目の上島の田中だ。町内会長と新道地区町内会長協議会会長をもう一期務めることになった。一委員として、町内会長協議会と地域協議会で互いに意見をすり合わせていかないと中々発展しないので、両方に首を突っ込んでいるという訳だ。色々な話を共有しながら、新道地区のために頑張っていきたい。一期やったことを生かして、地域活動支援事業を何とかよい方に向けていけるように、皆さんと協力して採択していきたい。

【塚田委員】

地域の皆さんと協力し、若い人の意見を聞きながら皆さんについていきたい。

【船崎委員】

鴨島から来た。私の親父が上島出身なので上島のことは分かるが、初めてなので会議の様子が分からないし、新道地区全体のこともよく分からないが、よろしく願う。

【水野委員】

稲田四丁目から来た。地域協議会委員になった理由は、上越市に屋内型パークを建てたいという動きをしている。市議会議員とかと話していくうちに、上越市の人口を増やすことに繋がることに気付かされて今回立候補した。こういう会は全然分からないので、色々教えていただけたらと思う。

【森委員】

今回初めて協議会委員になった。細かいことは分からないが、皆さんと協力し合っ

て新道地区が益々発展するように努力していきたい。

【吉田委員】

子安新田の町内会長をしている。町内会長は今期で3年目に入る。昨年までは、地域協議会の地域活動支援事業に申請して採択された実績もあり興味を持っていたので立候補した。高齢化の中で老人会である福寿会の健康寿命を伸ばそうと労災病院の先生からも応援があり、色々な会の人たちとコミュニケーションがとれている状態かと感じており、是非この中で生かしていければと思う。

【吉原委員】

富岡から来て、子どもが3人いる。子どもたちが地元に戻って来たいとか、富岡に戻りたいと思えるようなまちづくりのお手伝いが出来たらよいと思う。皆さんと協力していきたい。

【山田センター長】

- ・自己紹介

【野口係長】

- ・自己紹介

【小林主事】

- ・自己紹介

【山田センター長】

4議題「(1)諸事項の確認について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料により説明

【山田センター長】

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

次に「(2)会長・副会長の選任について」協議する。会長及び副会長の選任については上越市地域自治区の設置に関する条例第6条の規定により、委員の中から選任することとなっている。まずは会長の選任をお願いしたい。選任方法について意見を求める。なお、2期目の会長1人、副会長2人は、委員の皆さんに推薦いただき、挙手で決定している。参考までに、会長の役割は会議日程の決定、事前の打ち合わせ、会議での議事進行や意見集約のほか会長会議などがある。

では、立候補か推薦か、選任方法について意見を求める。

【船崎委員】

会長については、2期目や3期目の経験者からやっていただいたらどうか。

【山田センター長】

今の意見で如何か。

【有泉委員】

今の意見に賛成だ。世の中の流れもあるが、副会長は女性からなってもらった方がよいと思う。

【森委員】

経験者に越したことはないが、浦野委員が適任と思い推薦する。

【山田センター長】

他に推薦はあるか。

【金井委員】

議事進行が分かる人がよいと思うので秋山委員を推薦する。

【山田センター長】

まず、立候補される方がいれば、挙手をお願いします。

【秋山委員】

6年半、協議会委員を経験しているので、どなたもいらっしゃらなければ私が立候補したいとは思っているが、皆さんの意見が推薦であるならばそれに従う。

【山田センター長】

秋山委員が立候補したが、如何か。

【船崎委員】

経験豊富でよいと思う。

【山田センター長】

秋山委員が立候補されたが、賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員が賛成されたので、新道区地域協議会会長は秋山会長に決定した。

【山田センター長】

先程、秋山会長が選任されたので、これ以降の議事進行を秋山会長が行うことを報告する。

— 休憩 —

【秋山会長】

・挨拶

引き続き、副会長の選任を行う。まず、副会長の選任について、事務局に説明を求める。

【山田センター長】

副会長は会長を補佐し、会長がいない場合は会長代理となる。副会長の人数の取り決めはなく、これまで新道区では2人選任されている。2人選任するのであれば、代理する順位も決めていただく必要がある。なお、副会長は会長決定後、会長指名で決めている例もある。

【秋山会長】

副会長の選任について意見を求める。

【船崎委員】

人数は今までは何人だったのか。

【秋山会長】

2人だ。

【船崎委員】

男女別だったのか。

【秋山会長】

男女も地域性も考慮せずに選任していた。今回は女性も是非という意見もあったので、今回は女性の中から1人、副会長になっていただきたいと思う。皆さんから推薦があればお願いしたい。

【船崎委員】

新道区は南部・中部・北部に分かれているが、会長が南部なので、副会長は中部と北部からで、女性も1人出してもらえればよいと思う。会長は経験者の方がよいが、副会長は補佐なので経験者でなくてもよい。

【有泉委員】

副会長については会長補佐なので、会長からの指名がよい。また、女性を1人選任することについての是非について決をとっていただいた後に、女性の中から互選で決を取ったらどうか。

【吉田委員】

会長から指名ということで副会長を選任した方がよい。女性は4人の中から1人を選ぶ形がよい。

【田中委員】

船崎委員もおっしゃっていたが、地域を分けていかないと後で色々な課題が出てくるので、そこだけはしっかりと押さえていただきたい。

【金子委員】

女性委員が4人おられて、今回初めての方たちだけで、学校の生徒会などとは重みが違うので女性は無理だと思う。協力は何でもするが、子どもを持っている方には重荷かなと思う。

【船崎委員】

ご意見はもつともだが、男性でも女性でも初めてなのは同じだ。就いてもらうことによって、色々覚えてもらえるし、子どものためにも女性が入った方がよい。女性の観点で色々な考えも出てくるし、発展的に考えて女性にやってもらえたらよい。後は、会長のやり易いように指名していただければよい。

【水野委員】

今回の委員の中に経験者はいるのか。

【秋山会長】

1期目に私が副会長をやったが、今回の委員の中には経験者はいない。では、副会長は2人ということでよいか。

(「はい」の声)

船崎委員や金子委員から意見も出たが、立候補がいなければ、会長指名でもよいか。

【田中委員】

地域性を考えて、会長指名でよい。

【有泉委員】

さっき言ったように、女性を1人入れていただきたいので、女性を先に決めていただき、次に地域性を考えて男性を決めればよい。

【秋山会長】

女性を1人入れていただきたいとのことなので、4人の中から1人出てもらいたい。金子委員は南部地区で、高橋委員は中部地区、塚田委員、吉原委員は北部地区だ。中

部地区の高橋委員に副会長をお願いしたいがどうか。

(拍手)

【金子委員】

この中で仕事柄、新道区のことを一番よく知っているのは高橋委員だと思うので賛成だ。

【秋山会長】

それでは高橋委員を副会長に選任してよいか。

(「はい」との声)

もう1人の副会長は浦野委員を指名するが、皆さんよいか。

(拍手)

副会長は浦野委員と、高橋委員に決定した。

では、副会長の順位を決めていただきたい。

【有泉委員】

今まで全市の協議会の中で女性の会長はいたのか。

【山田センター長】

これまでは、他の区で女性会長がいたことはある。

【高橋副会長】

副会長ということで、この席に着かせていただいているが、会長代行するには経験豊富な浦野副会長をお願いしたい。

【田中委員】

浦野副会長は、新道地区に詳しいし、町内もつぶさに見ているので第1順位に相応しいと思う。

【秋山会長】

お二方のご発言のとおり、会長代理の第1順位は浦野副会長でよいか。

【船崎委員】

皆さんが経験豊富な方がよいというならば仕方ないが、私は若い方にやっていただいた方が勉強のためにもよいと思う。

【水野委員】

他の区では会長は2年毎にしている地区もあったと思うがどうか。

【山田センター長】

地方自治法では、会長及び副会長の任期は委員の任期によるものとされている。したがって、原則、正副会長の任期も4年ということになる。

【船崎委員】

任期途中で変更はできないのか。

【山田センター長】

任期の変更は、本人が辞退されることが前提となる。基本的に4年間だ。

【田中委員】

前期を務めて思ったが、新道区は地域活動支援事業の申請も沢山上がってきている。会長・副会長の意見を聞きながら、会議を進めていかないと何時になっても終わらないことになる。最終的には、会長・副会長の判断になるので、経験豊富な人の方がよい。

【秋山会長】

私としては、第1順位は浦野副会長。第2順位は高橋副会長でお願いしたいと思うが、如何か。

(拍手)

では、第1順位は浦野副会長、第2順位は高橋副会長に決した。

【浦野副会長】

・挨拶

【高橋副会長】

・挨拶

【秋山会長】

「(3)地域協議会の運営等について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.1により説明

【秋山会長】

席順について、名簿順でどうかと事務局から提案があったが、提案どおりでよいか意見を求める。

(「異議なし」の声)

今までどおり、名簿順で決定とする。

次に「会議の招集請求に必要な委員の数」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.1 により説明

【秋山会長】

今の説明について意見を求める。

(「意義なし」の声)

今までどおり、4分の1以上で決定する。

次に「会議録の確認者」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.1 により説明

【秋山会長】

会議録の確認について名簿順という事務局からの提案があったかどうか。

(「名簿順でよい」との声)

【有泉委員】

何人選ぶのか。

【秋山会長】

1人だ。それでは名簿順とする。

【野口係長】

補足説明する。今までは会長と順番に1人ずつで確認していただいた。今回から、会長以外で何人が確認するのか、または副会長も確認するのかなどを決めていただきたい。

【有泉委員】

会議録は、どのように確認するのか。

【船崎委員】

会長以外に1人だと漏れ落ちが出るので、通常であれば2人必要だと思う。会長はあくまで会長としての立場だから、議事録署名人は別に2人いた方がよい。

【山田センター長】

会議録の確認方法について、事務局では署名はいただいている。基本的な流れは、会議があると1か月後にホームページなどに掲載しているので、事務局で会議録を作成しそれを確認していただく。レコーダーと一字一句照らし合わせて間違いがあるか、確認するわけではなく、誤字脱字や会議の内容と会議録の主旨が違っていないかどうか

かが主だ。

【船崎委員】

ホームページに掲載するとなると、発言内容の訂正は証拠として残るのか、残らないのか。

【秋山会長】

会議録の確認は、これまで訂正があれば赤ペンで修正して事務局に提出した。

【山田センター長】

証拠があるかどうかは、事務局の方で修正個所がわかるものを保管してある。修正したものを正式な会議録としてホームページなどに掲載する。

【船崎委員】

その手法は、私に言わせれば正式な会議録ではない。広報やホームページに載せるだけなら1人で構わない。私が言う正式とは印鑑を押すことだ。印鑑を押さないということは責任の所在がないということだ。

【有泉委員】

会議録は一字一句残すのか。

【山田センター長】

一字一句ではなく、主旨・内容が違わないように確認するのである。

記録方法は大まかに二通りある。一つ目は、一字一句を正確に残す「逐語方式」。もう一つは、主旨・内容が違わないように要約する「要点方式」。私ども事務局では、正式なやり方というよりも、協議会の中で決められたことに基づき、これまでの会議録の確認をさせていただいている。署名までしていないが、今までこれを正式なやり方としてやってきているのでその点をご理解いただきたい。内容のまとめ方においては、逐語方式か要点方式かで言えば、要点方式になる。会議録の作成基準を全市で統一し、内容を分かりやすく要旨をまとめる観点でやってきている。地域協議会検証会議というものがあり、報告の中には委員の皆さんの発言が出づらくなならないような公開の仕方も検討していくべきだということがあった。読んだ方が分かりやすく理解出来る形でやってきている。

【有泉委員】

分かった。

【秋山会長】

会議録の確認は、私も確認するが、名簿順で、要点方式で確認するということ
よいか。

(「はい」の声)

それでは、初回の会議録確認者は有泉委員にお願いします。

(「はい」の声)

続いて、「会議の開催時刻」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・「会議の開催時刻」について説明

【秋山会長】

説明のとおり、時刻を固定せずに、その都度決めるやり方でよいか。

【船崎委員】

平日の夕方という考え方でよいか。昼間でもよいか。

【野口係長】

開催の曜日や時刻は、皆さんの都合のよいときで結構だ。固定するのか、その都度決めるのかを協議していただきたい。

【田中委員】

ヒアリングの時は仕方がないが、その他の会議は時間を固定した方が助かる。

【秋山会長】

過去もずっと午後 6 時 30 分で固定だったので、時間は午後 6 時 30 分開始の固定でよいか。

(「はい」の声)

次に「会議の会場」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・「会議の会場」について説明

【秋山会長】

それでは、従来どおり新道地区公民館でよいか。

(「意義なし」の声)

それでは、新道地区公民館で開催させていただく。

次に、その他「地域協議会だより」について事務局から説明を求める

【野口係長】

・「地域協議会だより」について説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

「(4)地域活動支援事業について」の「制度の概要」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.3により説明

【秋山会長】

今の説明について質疑を求める。

(質疑なし)

次に「提案事業の受付状況」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・「提案書」により説明

【秋山会長】

今の説明について質疑を求める。

【船崎委員】

700万円の予算のところ、1,100万円となると、一律40パーセントをカットして全部を採択するやり方もある。鴨島三丁目については水飲み場や街灯など市の事業である公園設備だが、それをどうして町内でやらなければいけないのか等の問題が出てくる。これまで基本的にどのようなやり方でやってきたのか知りたい。

【山田センター長】

最初の質問で、事業対象内であるのかどうかは、事務局が受付した段階で、内容をチェックして補助対象となるものを上げている。結果的に配分額をオーバーしているが、審査方法については、今日は時間の都合により議論しない。

これまでは、採点結果で配分額のボーダーラインより下位にあるものをカットする場合はそれで採択は終わるし、上位の順位でも内容を吟味しながら減額した場合もある。審査内容については、ヒアリングが終わった後で皆さんに協議していただきたい。

【秋山会長】

次に「審査方法」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.4、No.5 により説明

【秋山会長】

今の説明により、提案事業は6月の下旬から7月上旬までには採択しなければいけないので、視野に入れておいていただきたい。

まず、提案事業の採択までの今後の予定について意見を求める。

【船崎委員】

今までは1日で終わったのか、何日も掛かったのか。

【山田センター長】

1日で終わっている。

【田中委員】

初めての方もいるが、ヒアリング時間は短くて、聞く方も5分間の中で聞かなければいけないし、回答する方も5分間の中でやるので、提案書の内容をよく見て簡潔にやらなければいけない。

【船崎委員】

ヒアリングの時の委員からの質問は、代表がするのか委員全員が質問できるのか。

【秋山会長】

誰でも質問してよい。

【有泉委員】

金額についての高いとか安いとかの質問は私たちからしてよいのか。

【秋山会長】

それも委員の皆さんから協議していただいたり、補助金額をどうするかというのを決めていただくということになる。ですので、提案書の中身をよく見て採点していただく。

【船崎委員】

公益性とかを考えて、各委員で判断していただければよい。単純な考えで言えば、一律40パーセント減して、配分額の範囲内でやればよいということになる。

【浦野副会長】

色々話が出ているが、単純に頭から掛ける0.6のような評価ではよくない。我々は見積書の専門ではないので、見積金額まで審査する必要はない。事務局から説明があったとおり、地域協議会としてどの事業を採択するのか、しないのかをヒアリングの

日までに見て来るということだ。それに対して後日配られる採点票を事務局に提出するので、提案内容をよく頭の中に入れておくことが大切だ。だから、全部採択して6割払うということではない。

地域協議会が採択するのではなく、協議会が市の事業に回そうという提言も出来ると考えるので、何でもかんでも100万円のものを60万円にすればよいということではない。

【山田センター長】

浦野副会長のおっしゃったとおり、基本的にヒアリングは事業内容の不明な点を確認する場だということをご承知いただきたい。ついては、内容を理解した上で提案者に対して質問するのがルールなので大変だと思うが熟読していただきたい。

【船崎委員】

先程40パーセント減でやればよいと発言したが、今までそういうやり方でやってきたのではないかと私自身思っていた。しっかり精査して、駄目なものは駄目だと言えるように皆さんに見てもらいたい。何年か見てきたが、ちょっとこれは如何かと思う提案も入っていた。しっかり見て、分からなければ質問していただくということが一番大事だ。

【有泉委員】

私の質問に浦野副会長と事務局で答えていただきホッとした。これだけの資料をお金の問題を検討したのでは間に合わない。浦野副会長もおっしゃったが、見積の中身まで審査するのは難しいと思うので有難かった。

【田中委員】

今までの経験だと、ハード事業だと実際に現場に行って、見て、マッチしているかどうか。後はヒアリングの時に提案者の意見を聞きながら自分の判断で採点を付ける。だから、初めて審査する委員は大変だと思うが、事業の中には予算を削ったら何もできない事業もあるので研究してもらいたい。私も初めて採点する時には非常に苦労したがこれもよい勉強だと思った。

【秋山会長】

ヒアリングについてはこれで終わりにする。

第3回目の会議日程を協議する。

(日程調整)

- ・第3回地域協議会：6月28日（火）午後6時30分から 新道地区公民館
その他で事務局から何かあるか。

【山田センター長】

先ほどの有泉委員の意見に補足させてもらう。次回は委員の皆さんから提案団体に質問していただくが、事業の中身によっては見積書をよく見ていただくものも出てくるため、全く見ないでよいと言い切れない面もある。ソフト事業の中では、事業の中の一つを取ってしまうと事業そのものが成立しないものも出てくる。ケースバイケースであり委員の視点もそれぞれ異なると思うので、場合によっては見積書をよく見ていただいて、疑問があればご質問いただければよいと思うので、各委員にお願いする。

【秋山会長】

- ・閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。